

大会宣言

私たちは、福祉的就労分野で労働者性が担保される就労継続支援A型事業が、一般就労が難しい障害者にとって、地域生活が可能な所得保障や社会人としてプライドをもって働く場として必要であるとの思いから、全Aネットを平成27年2月28日に結成いたしました。

近年、悪しき福祉ビジネスとしてのA型事業所の存在が問題視されています。多くがディーセントワーク（やりがいのある仕事の提供）とは程遠い状態です。

平成29年度日本財団助成事業「中間的就労分野における就労継続支援A型事業の可能性拡大事業」の一環として開催しますこの「A型フォーラム in 大阪」では、テーマを「良きA型事業のあり方を考える」と題して、地域の現場の皆様による意見交換を行なうことができました。

フォーラムに参加した皆様の賛同を得て、私たちは全Aネットの基本方針を改めて確認をし、事業運営に邁進したいと思えます。ここに大会宣言を行います。

記

【こんなA型は絶対に認めません。】

1. 私たちは、収益を上げる努力をせず、低賃金の仕事をしている事業所は認めません。
2. 私たちは、一律短時間の雇用実態のある事業所は認めません。
3. 私たちは、訓練等給付費を利用者賃金にあて、必要経費を削る経営の事業所の存在は認めません。
4. 私たちは、労働関係助成金の対象期間が過ぎると利用者を追い出し、次に新たに雇用した人の労働関係助成金を充てにする事業所の存在を認めません。
5. 私たちは、以上のような利用者の人権を無視したような悪しき型と言われる事業所の存在を認めません。

【私たちの望み】

1. 私たちは、利用者に対し、一人の人間として接し、その自己決定を尊重し、就労と地域生活を支援します。
2. 私たちは、利用者働き甲斐のある仕事・達成感のある仕事を提供し、地域で生活をしていけるように法で定められた最低賃金額を保証します。
3. 私たちは、利用者労働者としての権利を保障し、利用者の作業能力を育て、能力を伸ばす作業環境を提供し、障がいのない人と同等に活躍できる職場を提供します。
4. 私たちは、利用者に対して安全衛生環境の確保はもとより、物理的にも精神的にも働きやすい環境を提供します。
5. 私たちは、情報提供に努め、希望に沿って一般就労へ移行を支援します。
6. 私たちは、アセスメントを入念に実施し、利用に関しては利用者の希望を最大限尊重します。
7. 私たちは、これらの活動を確実なものとするために、常に提供するサービスの自己評価をし、公表し、事業の継続・発展に努めます。

平成29年7月22日

NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会
(全Aネット)
大阪府就労継続支援A型事業所協議会
(Aネット大阪)